

ボーリング柱状図


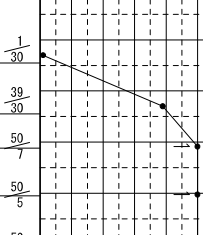
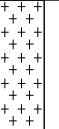
調査名 一級河川太田川水系大毛寺川支川4通常砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo.	5	1	3	2	6	3	3	8	0	0	4
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名		Boring No.4		調査位置		No. 1+6. 36 CL				北緯		34° 31' 35. 3890″			
発注機関		広島県西部建設事務所				調査期間		平成29年11月21日～平成29年11月22日				東経		132° 29' 06. 1798″	
調査業者名				主任技師				現代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者	
孔口標高		GH	122. 65m	<div>角 180° 上 下 0° 90° 0°</div>	<div>方 0°北 270°西 90°東 180°南</div>	<div>地盤勾配 3° 鉛直 90°</div>	使用機種	試錐機		東邦地下工機(株)製D-0型		ハンマー落下用具		半自動型	
総掘進長		5. 00m						エンジン		(株)ヤンマー製NFD-12型		ポンプ		東邦地下工機 BG-3型	

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	変質	記	コア採取率		岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験		原位置試験	室内試験	掘進状況								
											× (%)	最大コア長 cm R Q D [%]			深 度 m	打 撃 回数 ／ 貫入量 回/cm			N 値	掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	給 圧 MPa	回 転 数 rpm	送 水 圧 MPa	送 水 量 1／分	排 水 量 1／分
1										表層部は草木根多く含むが、GL-2.0m以深、花崗岩の二次堆積物主体となる。φ1～10cmの垂角線点化する。	0 20 40 60 80		11/22 1.20	1.18	1 30				66 ／ ケーシング	0	0	0	0	0			
2	120.35	2.30							GL-1.75～2.0m間、礫密集する。					1.48	39 30				100								
3									中生代白亜紀の花崗岩。風化の進行が著しく岩芯にまで及んでいる。GL-2.6～2.7m間、亀裂に沿った変質が認められる。					2.15	39 30												
4									深度ともに硬質となる傾向が認められる。					2.45	50 7						11/21	50	66 ／ D C	0	100	1	10
5	117.65	5.00													3.05		5					11/22					
6															3.12												
															4.00	50											
															4.05	5											
															5.00	50											
															5.02	2											

株式会社荒谷建設コンサルタント